

Q. 錆びに弱いではありませんか？

A. 溶融亜鉛めっき銅版が、錆びを寄せ付けません。

### ■ 「犠牲防食作用」を持つ溶融亜鉛めっき

スチールハウスの鋼材は、厚み 1 ミリ前後の鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものです。

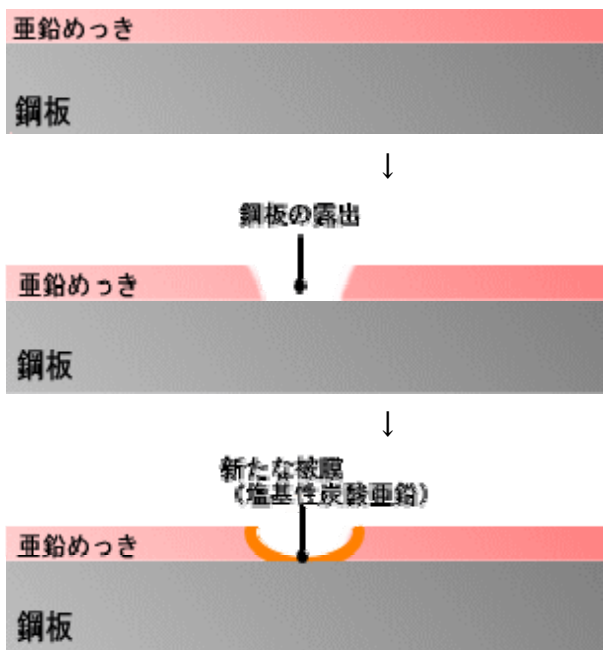
厚み 1 ミリ程度の鋼板という、「すぐに錆びてしまうのでは？」と思われるかもしれません。

しかし、「犠牲防食」という現象により、溶融亜鉛めっき鋼板は簡単には錆びないのです。

「犠牲防食」とは、仮にめっきがはがれて鉄が空気にさらされたとしても、周囲の亜鉛が鉄の代わりに錆びて、その錆びが被膜となり鉄を守る、ということです。

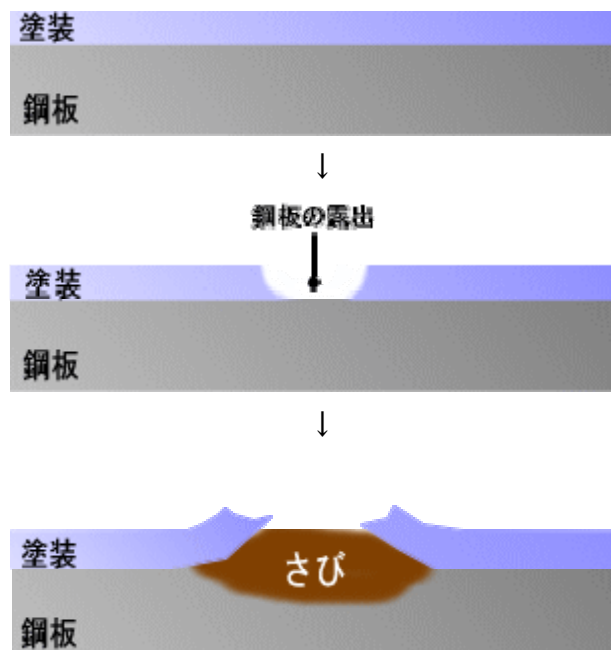


溶融亜鉛めっき鋼板の場合  
(スチールハウスなど)



亜鉛めっき自体が錆びて被膜する（犠牲防食）により、鋼板の腐食を抑制します。

通常の塗装の場合



荒い鉄錆びにより塗装膜が大きく破れ、更に腐食が進行します。

鉄に対して、亜鉛だけが持つ特別な働き「犠牲防食作用」。この作用が鋼材の寿命を飛躍的に伸ばします。

スチールハウスで用いる溶融亜鉛めっき鋼板（めっき付着量 275 g/m<sup>2</sup>以上） なら、乾燥した地域で 80 年ほど、海岸近くでも 20 年ほどは、雨ざらしでも錆びません。

建築物内部では、その更に 5 倍～7 倍程の寿命が見込まれることから、建築立地が多少厳しいとしても、スチールハウスの躯体を構成する鋼材は、100 年以上は錆びによる影響が全く無い、と言えるでしょう。